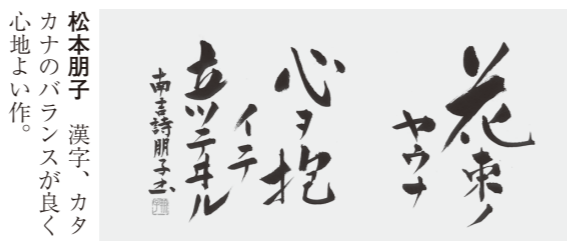


- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

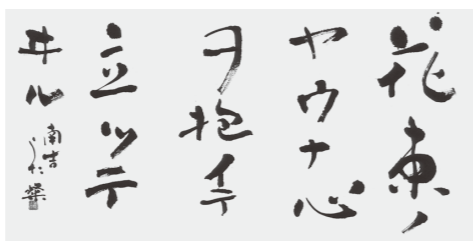
〈B課題の部〉



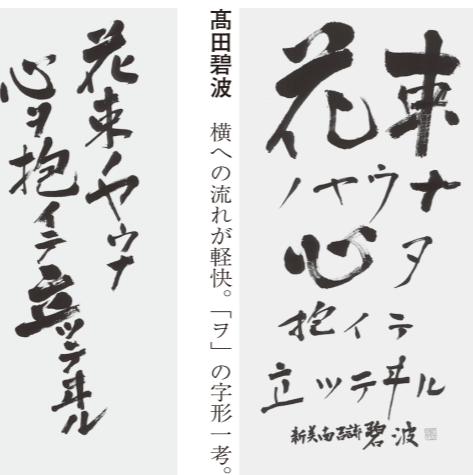
松本朋子 漢字、カタカナのバランスが良く心地よい作。



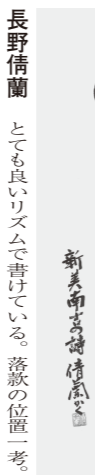
田中鉄郎 ぐいぐいと書き進める意欲的な作。



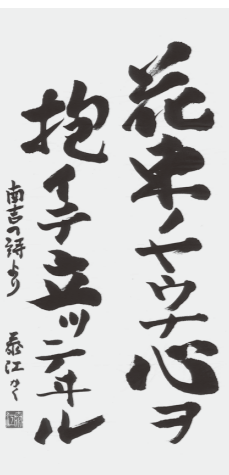
小倉 榮 動きを抑えた表現で余韻を残した。詩か歌か確認を忘れずに。



高田碧波 横への流れが軽快。「ヲ」の字形一考。



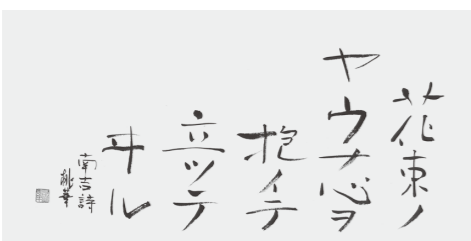
長野倩蘭 とても良いリズムで書けている。落款の位置一考。



林 泰江 どっしりとした字形で安定感あり。



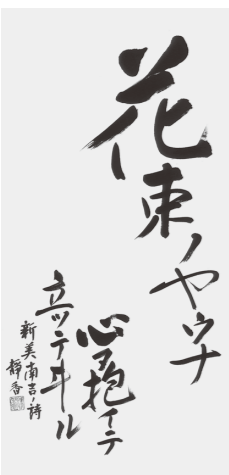
中村清寿 筆の動きが巧みでスケールの大きな作品。



井上桃華 細線を生かした余白が美しく優しい作。



鈴木彩園 三プロックに分け明るさを表現。落款までリズムを揃えて。

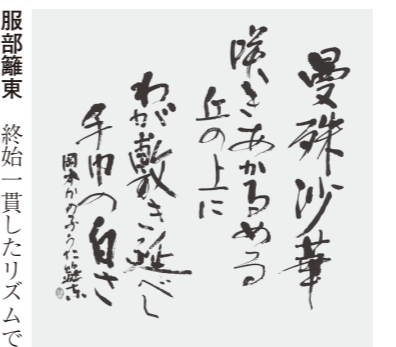


永田静香 左上の余白が作品を明るく上品にした佳作。

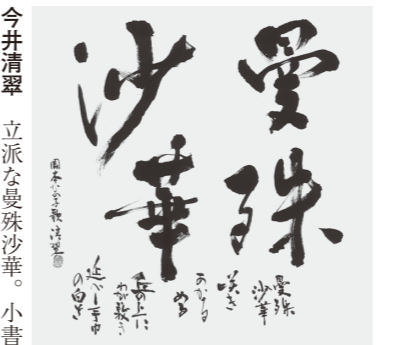
〈A課題の部〉



川西 勉 「沙」の渴筆が素敵。大小を意識され白の空間が上品。



服部雛東 終始一貫したリズムでまとまった。



今井清翠 立派な曼珠沙華。小書きにも変化をつけて。

優秀作品

B 陵を出し白鷺一ヶ月の面を

(山本梅史 句)

A 相見しは大き銀杏の秋の岡

金色ながすひかりの夕

(与謝野鉄幹 歌)

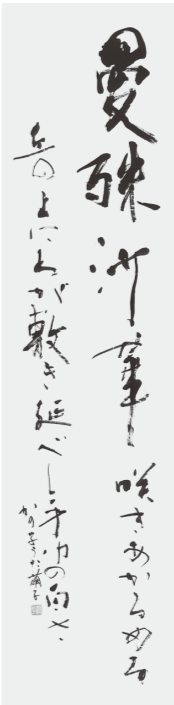
現代書部 次号課題

例年なら秋、なのに今年は暑が続いています。美術館、博物館は空調が効き、色んな作品をゆったりと鑑賞出来ます。先日、「名品でたどる文字文化、書の歴史」として特別展示された「ほんまもん」の古筆印・作品を間近で鑑賞し、勉強になりました。目で追っていると作者の息づかいが感じられるようでした。

さて、今回のB課題は、カタカナと漢字の調和に苦労された方や、楽しんで書かれたのだからと感じる作品があり、楽しく選ばせていただきました。カタカナやひらがなでどう魅せるか工夫してみてください。



松下恭香 堂々とした曼珠沙華。小書きにも潤濁大小の変化を。



塚本蘭子 細線を生かしたリズムミカルな文字の表情で余白が美しい。



加藤由美子 淡墨で破筆を生かした絵画的な作品。